



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月14日

上場会社名 株式会社グラッドキューブ 上場取引所 東
コード番号 9561 URL <https://corp.glad-cube.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 CEO (氏名) 金島 弘樹
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 篠原 直 TEL 06-6105-0315
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	502	—	36	—	38	—	40	—
2025年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 38百万円 (—%) 2025年12月期第1四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	4.78	4.73
2025年12月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2025年12月期連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、2025年12月期第1四半期の数値、対前年同四半期増減率及び2026年12月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	2,222	757	34.1
2025年12月期	2,174	717	33.0

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 757百万円 2025年12月期 717百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,762	0.4	3	—	29	—	28	—	3.40

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）での業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期1Q	8,436,540株	2025年12月期	8,433,540株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	32株	2025年12月期	32株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期1Q	8,433,706株	2025年12月期1Q	8,388,597株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

当社グループは、2025年12月期連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間との比較は行っておりません。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資の再開、デジタル化・DX推進の加速などが経済活動を下支えし、緩やかな回復基調を維持いたしました。一方で、世界的なインフレ圧力の継続や主要国の金融政策の影響、地政学的リスクの高まりに加え、為替の変動や資材価格の上昇などによるコスト増が懸念される状況となっております。

当社グループが主たる事業領域とする国内インターネット広告市場は、歴史的な転換点を迎えております。2025年の国内インターネット広告費は、前年比110.8%の4兆459億円となり、1996年の推定開始以来、初めて4兆円の大台を突破いたしました。また、総広告費に占める構成比は50.2%に達し、初めて過半数に達しております（出典：株式会社電通「2025年日本の広告費」）。2026年の世界広告費についても、世界経済の成長率を上回る5.1%の成長（市場規模1兆米ドル超）が見込まれており、特にデジタル広告が引き続き市場を牽引する「アルゴリズム時代」が本格化すると予測されています（出典：株式会社電通グループ「2026年世界広告費成長率予測（更新版）」）。

また、国内ITサービス市場においては、生成AIやDXといったデジタル変革が加速する中、企業はITシステムへの投資を積極的に行っております。深刻なシステムエンジニア不足が課題となる中、システム開発を外部に委託する動きは今後も拡大するものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高502,165千円、営業利益36,645千円、経常利益38,782千円、親会社株主に帰属する四半期純利益40,278千円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

① マーケティングDX事業

当事業における取り組みとして、ネット広告事業につきましては、前連結会計年度から引き続き、営業体制の強化による既存顧客からの継続的な発注依頼に加え、大手代理店やツールベンダー等の協業パートナー企業との連携深化による案件受注を推し進めております。特に、昨今の運用型広告市場の高度化に対応するため、動画制作からSNS運用までを一気通貫で支援する体制を構築し、各媒体の相乗効果を最大化させることで、顧客のマーケティング投資に対するROAS（広告費用対効果）の向上に努めております。また、SaaS事業につきましては、自社開発ツール「SiTest」において、生成AIを活用しサイト改修案を自動提示する「SiTest AI診断（β版）」の提供を開始いたしました。これにより、従来はコンサルタントが行っていた高度な分析・診断プロセスの自動化・高速化を実現し、導入企業のWebマーケティングにおける意思決定の迅速化と工数削減を強力に支援しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は449,250千円、セグメント利益は174,078千円となりました。

② テクノロジー事業

当事業における取り組みとして、SPAIA事業につきましては、競馬予想AIにおけるデータ解析精度の更なる向上とUI/UXの刷新を継続し、有料会員を含むユーザー基盤の拡大を図ってまいりました。スポーツメディア「SPAIA」では、自社開発のスポーツデータセンター「DRAGON DATA CENTER」を通じて、プロ野球に加え、ニーズの高い海外スポーツやBリーグ等の多種多様なデータをリアルタイムに統合・解析する体制を強化いたしました。この結果、SPAIA全体の会員数は150,437人と、強固なファンベースの構築が進んでおります。DX開発事業につきましては、企業の人的資本経営やIR活動のデジタルトランスフォーメーションを支援するAIソリューション「Ava Twin（アバツイン）」の本格展開に注力いたしました。上場企業を中心としたIR情報の発信高度化や、採用・人事領域におけるAI活用のニーズを的確に捉え、サービス領域の拡大とブランド知名度の向上を推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は52,914千円、セグメント損失は78,118千円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は2,222,924千円となり、前連結会計年度末に比べ48,900千円増加いたしました。これは主に売掛金及び契約資産の増加92,122千円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は1,465,710千円となり、前連結会計年度末に比べ9,188千円増加いたしました。これは主に長期借入金の減少51,381千円、未払法人税等の減少7,511千円があったものの、買掛金の増加69,582千円があったことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は757,213千円となり、前連結会計年度末に比べ39,712千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年2月13日に「2025年12月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,370,213	1,359,284
売掛金及び契約資産	468,996	561,118
棚卸資産	—	42
その他	139,957	98,410
貸倒引当金	△57,683	△44,701
流動資産合計	1,921,483	1,974,154
固定資産		
有形固定資産	26,600	25,758
無形固定資産	59,005	56,198
投資その他の資産		
投資有価証券	81,676	82,178
繰延税金資産	11,616	13,124
その他	58,739	57,535
貸倒引当金	△363	△363
投資その他の資産合計	151,670	152,476
固定資産合計	237,275	234,433
繰延資産		
創立費	14,719	13,916
社債発行費	545	419
繰延資産合計	15,264	14,335
資産合計	2,174,023	2,222,924
負債の部		
流動負債		
買掛金	406,349	475,931
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	241,243	227,934
未払費用	116,170	121,702
未払法人税等	8,826	1,314
契約負債	129,484	128,919
預り金	22,536	20,753
その他	98,161	122,412
流動負債合計	1,062,770	1,138,967
固定負債		
社債	20,000	—
長期借入金	345,664	294,283
繰延税金負債	4,118	3,893
その他	23,968	28,565
固定負債合計	393,751	326,742
負債合計	1,456,522	1,465,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	372,853	373,084
資本剰余金	362,780	363,342
利益剰余金	△14,585	25,692
自己株式	△32	△32
株主資本合計	721,016	762,087
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△3,514	△4,873
その他の包括利益累計額合計	△3,514	△4,873
純資産合計	717,501	757,213
負債純資産合計	2,174,023	2,222,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
売上高	502,165
売上原価	171,966
売上総利益	330,199
販売費及び一般管理費	293,553
営業利益	36,645
営業外収益	
受取利息	2,253
債務勘定整理益	1,388
その他	1,955
営業外収益合計	5,597
営業外費用	
支払利息	2,282
創立費償却	802
その他	373
営業外費用合計	3,459
経常利益	38,782
税金等調整前四半期純利益	38,782
法人税、住民税及び事業税	237
法人税等調整額	△1,732
法人税等合計	△1,495
四半期純利益	40,278
親会社株主に帰属する四半期純利益	40,278

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	40,278
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	△1,358
その他の包括利益合計	△1,358
四半期包括利益	38,919
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	38,919

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

当第1四半期連結累計期間
(自 2026年1月1日
至 2026年3月31日)

減価償却費 5,860千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	マーケティング DX事業	テクノロジー 事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	449,250	52,914	502,165	—	502,165
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	449,250	52,914	502,165	—	502,165
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	449,250	52,914	502,165	—	502,165
セグメント利益又は損失(△)	174,078	△78,118	95,960	△59,314	36,645

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△59,314千円は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。